

5 高校生会議に参加して

東京都立三田高等学校

校長 原田 能成

生徒が安全で安心な環境の中で、心身ともに健やかに育つことは学校にとって何よりなことだと感じています。しかし、SNSが飛躍的な進歩を遂げ、人と人がつながる可能性は一気に広がったことで、我々の周りの多くの情報が氾濫しています。それと同時に、SNSを媒体とした犯罪も多くなりました。インターネットなどでは「大麻は他の薬物より安全、害がない」、「大麻は依存性がない、いつでもやめられる」、「海外では大麻が合法化されているから安全」という誤った情報もあります。何が正しい情報で、何が犯罪に繋がるのかを自分で判断し、行動しなければいけない時代であると感じています。このような中、本校を今年度、薬物乱用防止高校生会議に参加させていただきありがとうございました。

さて、東京では覚醒剤事犯で毎年1200名前後が検挙されており、その1.0%程度学生が含まれているという資料が「警視庁の統計」で公表されています。このことは、決して対岸の火事ではなく、自分たちの身の周りにも起こりえる事件と捉え、深く考え、行動することが求められます。

今回の取組で生徒は、危険薬物が私たちに身近に多数存在することや、これらの薬物には強い依存性があり、副作用も強いことを学びました。また、近年は若者の間で、比較的安価で、インターネット等に「大麻は危険ではない。」などと誤った情報が広がっており、大麻に対する危険性の認識が低いことから、大麻使用が急増していることを理解できました。また、日本では、大麻の営利目的の所持・譲渡・譲受・輸入・栽培には懲役や罰金等が科せられることについても改めて学ぶことができました。

我々学校も違法薬物に対する新しい知識や情報に敏感となり、生徒が薬物事件に巻き込まれるかもしれないという危機感をもつことと、情報モラルについての徹底も重要だと考えています。これらを単体で指導するのではなく、総合的な指導を行うことでより効果的な指導へと発展させていきます。生徒に、断る勇気をもつこと、嫌だという気持ちを自分の口で伝える力、危険な状況を回避する力、危険な状況に遭遇したらすぐに逃げる勇気を身に付けさせていきます。また、困っている生徒に対しては教員や友人が声を掛けて、心の声に耳を傾けてあげたり、隣に寄り添ってあげたりすることで、生徒の居場所をつくっていきます。そして、生徒が社会で活躍できる人になれるよう育成してまいります。

結びに、本校の生徒をご指導して下さった関係諸機関の皆様をはじめ、東京都福祉保健局健康安全全部の皆様、並びに東京都教育庁指導部指導企画課の皆様から感謝申し上げます。

指導教員 栗原 信一郎

今回の薬物乱用防止高校生会議において生徒が置かれている社会環境について、改めて認識を深めることができました。高校生を取り囲む環境は、SNSの普及に伴い、多くの薬物につながる情報が蔓延していることを再認識いたしました。生徒の発表は、「若年層を取り巻く薬物環境」、先輩との人間関係により海外から薬物を日本に持ち込むことで、税関で逮捕され、人生を台無しにしてしまう若者の話でした。薬物依存だけでなく、日常の中に薬物に関わってしまう可能性があるという内容でした。様々な手段により、海外から薬物が持ち込まれていることを学びました。

そのような社会の中で高校生が薬物に関わらないようにするための行動や対処方法など、自分たちの目線で発信させていただきます。今回このような学習の機会を与えていただきました関係諸機関の方々に心より感謝申し上げます。

1年 生徒A

この薬物乱用防止高校生会議を通して、警察、弁護士の方、薬剤師の方、かつて薬物乱用をしてしまった方など、本当に様々な視点から、薬物乱用について学ぶことができました。

私は、小学校や中学校で薬物乱用防止教室などに参加した経験がありました。そのため、薬物乱用についてしっかりと理解できているつもりでいました。しかし、蓋を開けてみれば、それは知らないことばかり。若者の間では大麻が流行していること、割りの良いバイトと偽った運び屋が横行していることなど、薬物乱用のリアルを知りました。薬物乱用は自分たちが思っていたよりもずっと身近に存在していることによりやく気付いたのです。

また、ここで得たのは、薬物乱用に関連したことだけに留まりません。私たちは、自分たちが学ぶだけでなく、そこに加えて同世代の高校生たちに薬物乱用の危険性をわかりやすく伝える必要がありました。そのため、リーフレットでは、毒々しい色の背景にする、発表の中では、劇を入れ込んでみるなど、様々な伝えるための工夫を行いました。この経験はこれから先、何かを伝えたり、発表する時に、必ず生きてくると思います。

このように私は、薬物乱用防止高校生会議とおして、本当にたくさんのことを得ることができました。この会議を終えた今と前では、自身が大きく成長できたような気がします。この度はこのような貴重な機会を頂けたこと、とても感謝しています。これからもここで培った正しい知識と意識を決して忘れずに、生きていきたいといます。

1年 生徒B

この一連のプロジェクトに対して自分がその一員になった時、既に前向きな考えを持っていた。違法な薬物や薬物乱用に対しては以前からとても危険だという認識があり、それを他の人たちに発信するのは大きな意味があると思ったからだ。だが、発表に向けて薬物乱用に関する知識を増やしていく中で、その危険性に更に恐怖を感じ、発表への意欲は大きくなっていった。

東京税関や警視庁に行ってみたり、いろいろな立場の方々から話を聞いたりして、新たな発見を得ることができた。違った視点での考えを聞くと面白く、実際に起きた事例を見ると、その生々しさが伝わって事実としてあることを実感した。

これらの経験は本当に貴重であり、経験できた事に感謝したい。

最後の発表にもあったように、もちろん自分が違法薬物に関わらない、薬物乱用をしないことも大切だが、自分の身の回りでそういったことが起こらないことも大切だ。今回得た知見を基に、少しでも、とても危険な薬物乱用が身の回りで起きないように努力したい。

1年 生徒C

今回薬物乱用防止高校生会議に参加して、とても貴重な経験をさせてもらえたと感じました。最初は中学時代に学んでいたこともあったので、新しい学びや気付きは少ないかなと思い、参加をしました。しかし、高校生になり、よりSNSが普及したことによる弊害として、薬物のきっかけとなり得るなどということを知り、中学時代は主に薬物の危険性に集中した学習だったので、自分達の身近に危険が潜んでいるんだということの現実味が増したように感じました。また、高校生会議では弁護士の方や東京税関の方など、普段あまりお話を伺うことのできない方々からお話をお聞きすることができたので、薬物について一つの視点ではなく様々な視点で危険性を理解することができました。

また、座ってお話を聞くだけでなく、実際に見せてもらったり、自ら動く学びの機会が多かったので、心に残っていることがとても多いです。

全体を通して高校生という立場になり、改めて薬物を学んでみて、大人と変わらない責任が伴うことや「高校生」というだけで、薬物の世界に誘われるきっかけがたくさん日常生活の中に散りばめられている危険性を今一度、自分に促すことができたと感じました。

今後は、この貴重な学びの場を活かし、身近な人にもいかに怖いものなのかということを伝えていきたいと思いました。

1年 生徒D

今まで薬物乱用について学校で何度も講演を聞いてきた。それによって、薬物を乱用すると起こる症状や高い依存性、薬物乱用を開始するルートなどについての知識はあった。しかし、正直話を聞いても、結局は「私には縁が無いような話だ。」と思い、あまり真剣に考えたことはなかったし、考えようともしてこなかった。今回、HR委員が薬物乱用防止高校生会議に参加することになり、初めて症状などの面ではなく、裁判や刑事罰などの面から薬物乱用について知った。また、薬物乱用で悩んでいる人や、薬物乱用をしている人が周りにいて、悩んでいる人が相談できる場があることを知った。

薬物乱用をしてしまった人も、元は今の私のように「自分には関係ない」と思っていて、薬物乱用の入り口は想像しているよりもずっと近くにあることを学ぶことができ、今まで持っていた「私には縁がない話だ」という考えを改めることができた。

1年 生徒E

薬物乱用防止高校生会議をとおして、改めて薬物乱用の危険性について学ぶことができた。中学校の頃に「薬物は危険」だと何度も聞いてきたが、どのような危険があるのかを詳しく学ぶ機会がなかった。そこで、この会議に参加して、みんなと薬物について学んだり、実際に弁護士や薬物を使用したことがある人などから話を聞いたりして、自分が知らなかった知識を取り込むことができた。

このように学んできて、少し不安に思ったのが、年々若い世代に薬物を使用してしまう人たちが増えていることだ。このような状況になってしまうくらい生きづらい世の中になっているのかなと思う。世代ごとに価値観が違ったり、進化していく世の中に追いつけなくなったりなど、理由はたくさんある。これらを解決するには、目標は大きくなるが、差別してしまう意識をなくしていく必要があると思う。

1年 生徒F

今回の薬物乱用防止高校生会議をとおして私は「無知の怖さ」を強く感じました。今まで、私たちは学校の授業で、主に薬物の種類や影響について学んできました。しかし、高校生会議の準備で多くの貴重な話を伺うなかで、自分自身を薬物から守るためには授業で扱う知識だけでは足りない、自ら情報を知ろうとする必要があると思いました。具体的にはどのような場面で薬物乱用の被害に遭うのか、もし薬物に手を出してしまったときに相談できる・依存から抜け出すために共に薬物と戦う仲間がいることなど、正しい知識が必要だと感じました。

特に私が、頭の引き出しに常備しておきたいと感じたのは「REALの原則」です。もし誰かに薬物の世界に誘われたら、どんなに断る言葉を準備していても咄嗟に出てこないことがあると思います。そんなときにこれだけ心に留めておけば、一度落ち着いて冷静な判断ができると感じたからです。

私たちが薬物乱用防止高校生会議で学んだことが少しでも多くの高校生に伝わってほしいなと思います。そして、この高校生会議を終えても薬物に頭を抱える高校生0を目指して、周囲の友人に正しい知識を伝え広めていきたいと思っています。今回は薬物乱用に対して改めて考え直すきっかけとなる貴重な体験をありがとうございました。

1年 生徒G

私は、今回「令和4年度薬物乱用防止高校生会議」に参加してみて、日頃から薬物乱用に関する問題などをよく耳にするとは感じていたものの、その実態はまだまだ知らないことばかりであったと分かりました。

全7回に渡る会議の中で、最も印象に残っているのは、第2回の警視庁と東京税関へ訪問した時のことです。普段、なかなか入ることのない場所にお邪魔することができたことはもちろん、様々な資料を見せて頂いたり、実際に活躍されている警察の方などのお話を聞いたりすることで、薬物乱用の実態について肌で感じることができ、とても貴重な体験となりました。また、その他の回でも、弁護士の方のお話を聞くなど、毎回、とても有意義な時間を過ごすことができました。

このような機会を設けて下さり、本当にありがとうございました。この1年間で得られたことを、忘れずに心に留めておきます。また、同世代の方々にも積極的に伝えていき、薬物乱用のない未来を創り上げていきたいです。

1年 生徒H

私は、都立三田高校の代表として、今回の薬物乱用防止高校生会議に参加しましたが、最初はあまり気乗りしませんでした。しかし、友達と協力しながら発表の手筈を考えたり、警視庁や東京税関を見学させて頂いたり、発表に向けて準備を進めていくうちに少しずつ楽しさが芽生えていきました。

そして、発表が終わった今思うのは、この行事に参加できてよかったということです。もちろん、定期考査の直前に委員会があったり、発表の原稿を何度も直されてしまったり大変なことはたくさんありました。ですが、それ以上に、なかなか目にするできない資料を拝見できたり、劇の構成を考えたり、楽しいこと、面白いこともたくさんありました。その中でも、一番楽しかったのは、警視庁に見学に行ったときにみんなで食べたお昼の時間でした。

既にいろいろ書きましたが、私は本当に、この行事に参加して良かったです。この素晴らしい行事に参加させて頂きありがとうございました。

1年 生徒I

今回、この薬物乱用防止高校生会議に参加して、今まで授業やビデオなどでしか教わってこなかった薬物について様々な貴重な経験を通して、より深く学ぶことができました。今回のことから、新たに学び、印象に残ったことは、薬物を使ってしまう人の精神状態についてです。

薬物を乱用してしまう原因としては、強い孤独感、不安感などがあること、そういった人たちは、寄り添える居場所が必要なことを知り、今まで以上に薬物乱用防止について考えることができたなど感じました。それらを踏まえた上で、都庁での発表に向けて、みんなで協力して準備していくことができました。

発表では、自分は劇の主人公を演じさせて頂きましたが、違法薬物に巻き込まれていく様子を細かく演じていって、実際の様子などがイメージしやすくなり、このような問題をより身近に感じる事ができたと思います。今回の経験を通して学んだことから、自分たちにできることを少しでもやっていこうと思います。

1年 生徒J

私はこの薬物乱用防止高校生会議を終えて、本当に貴重な体験をさせていただいたと思いました。貴重な体験というと抽象的ですが、具体的には、警察官の方や、弁護士の方本人からのお話を伺ったり、警視庁見学で普段見ることができないものをたくさん見たりしたことなどです。

私が一番印象的だったのは、都民大会の日のトークセッションで、実際に薬物を使用したことがある加藤さんからのお話です。私は、今回この薬物乱用防止高校生会議に参加するまで、薬物なんて自分には無縁だと思っていました。正直、調べた上でも本当にこんなことあるのか？とってしまう自分がいました。しかし、加藤さんのお話を聞いて、本当に友達から誘われることがあるのだ、そうなってしまった場合、本当に断れないのだなと身に染みて実感しました。自分なら断ることができる自信を持っていたからこそ、お話を聞いて怖くなりました。このような機会に出会わないことが第一ですが、もし自分が当事者になってしまった場合は、きちんときっぱり言える覚悟をもって過ごしていきたいと改めて思いました。

今回は本当に貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。本当に本当に楽しかったです。

1年 生徒K

今回、この薬物乱用防止高校生会議に参加して、今まで知らなかった薬物や勧誘方法を学ぶことが出来ました。小学校から防止教室に参加していましたが、自分の周りにはないと信じ切っていました。

しかし、授業や調べ学習をしていくことで、もっと危機感を持つべきだとも思いました。

薬物を使用してしまう人は強い孤独感を感じると、発表の機会で見ました。そういった人たちは心の拠り所になる人や場所が必要なので、自分が人の寄り添える場所になりたいです。

発表では、勧誘する側として出ました。薬物を荷物として運ばせることであり、それを運ぶ子には伝えられない手段でした。自分には、想像出来ない方法だったので、もっと考えて行動するべきだと思いました。今回の会議に参加して一つ考えが生まれました。今、私たちが防止することに対して直接行動することは出来ません。なので、知識をつけ、知ることが重要だと思います。難しいこともありましたが楽しかったです。

1年 生徒L

薬物に依存してしまう理由として、自分を受け入れてくれる居場所がなく、残酷な現実から逃げるという目的があるということに気付いた時はとても驚きました。実際に薬物乱用の害による悲惨さを目と耳で体感しながら学んだことで、恐ろしさを感じたと同時に、私たちの生活を一変させ、地獄へと陥れる薬物が私たちにとって無関係でなく、身近な脅威として迫っているということを知り、雷に打たれたような衝撃を覚え、他人事として捉えてはいけない問題だと感じました。

同世代だからこそ共有できる悩みがあるからこそ、私たち自身が大事な人の心の声に耳を傾けてあげたり、隣に寄り添ってあげたりすることで、辛さや苦しみを分かち合い、その経験をとおして互いに心の拠り所となることが肝要であると感じました。

3か月間、成果発表に向けて責任者として尽力してきましたが、10代での乱用が問題となっているこの状況で、より多くの人に薬物乱用の「本質的な恐ろしさ」をこの活動をとおして伝えることができたなら幸いです。

1年 生徒M

今回、この薬物乱用防止高校生会議を通して発表の準備をする上で、改めて薬物乱用の危険性、そして、それがいかに身近であるかということを知った。発表の準備の際に、未成年と薬物の関わりについての本を読んだ。これまでは薬物を手に入れることは、とても困難で、そのような機会に出会うことは滅多にないと思っていた。しかし、実際には、SNSを通して手軽に購入することができてしまったり、市販薬で代用することができる。特にSNSでは、絵文字や隠語を巧みに用いて、薬物の販売が横行している。薬物の誘惑が私たちのすぐ近くまで来ていると感じた。

コロナウイルスの影響などで、日常的に潜むストレスが多くなっていると感じる時がある。そこで迫ってくる薬物の誘惑に打ち勝つことは、とても難しいことなのかもしれない。

私たちの今回の活動を通して、薬物に対する考えが変わる人が一人でもいれば、この会議は大成功だと思う。薬物に対する考えを深める良い機会になった。

6 参 考

(事前・事後アンケート集計結果)

令和4年度薬物乱用防止高校生会議 参加者アンケート集計結果

高校生会議参加生徒に対し、会議開催前（事前）と会議終了後（事後）にアンケートを実施し、その結果を集計した。有効回答者数は、事前15人、事後13人である。

摘要 ・乱用が問題になっている薬物の名称や用語、覚醒剤及び大麻の影響や危険性に関し、ほとんどの質問で会議実施後の方が増加した。

【事前・事後Q1】、【事前・事後Q2】、【事前・事後Q3】

・「自分や友人にとって薬物が身近な問題であると考えるか」との質問に関し、事前では「そう思う」と答えた生徒が67%であったのに対し、事後では85%となった。

【事前Q10・事後Q4】

以上の回答結果により、この高校生会議を通じ違法薬物に対する知識の習得や害悪性の理解をすること、会議を通じ薬物乱用を身近な問題としてとらえるという薬物乱用防止高校生会議の目的を達成することができた。

【事前・事後Q1】乱用が問題になっている薬物について知っている名称や用語（複数回答可）

	事前		事後	
	人	%	人	%
覚醒剤	15	100	13	100
大麻	15	100	13	100
あへん	10	67	10	77
モルヒネ	5	33	5	38
ヘロイン	5	33	10	77
コカイン	14	93	13	100
MDMA	10	67	11	85
LSD	3	20	4	31
マジックマッシュルーム	3	20	4	31
シンナー	9	60	12	92
トルエン	0	0	0	0
危険ドラッグ	12	80	13	100
向精神薬	2	13	7	54
医薬品（風邪薬、せき止め）	—（事後のみ）	—	9	69
ステロイド	6	40	5	38
その他	0	0	0	0
知っているものはない・わからない	0	0	0	0

【事前・事後Q2】覚醒剤について知っていること（複数回答可）

	事前(%)	事後(%)
ア 無色の結晶又は白色の粉末である。	73	85
イ 注射するほか、いろいろな使用方法がある。	67	85
ウ 使用すると、一時的にだが気分がスッキリし、疲労がとれたように錯覚する。	87	85

エ	効果が切れると倦怠感や疲労感におそわれる。	80	85
オ	(事前) 一度使うと繰り返し使うようになる。 (事後) 依存性があり、繰り返し使うようになる場合がある。	80	100
カ	長期間使用すると、幻覚や妄想がひどくなり、錯乱状態になる場合がある。	80	92
キ	長期間使用をやめたとしても、ストレス等で幻覚や妄想におそわれることがある。	53	69
ク	その他	0	0
ケ	知っているものはない、わからない。	0	0

【事前・事後Q3】大麻について知っていること（複数回答可）

	事前 (%)	事後 (%)	
ア	形は葉などを細かく砕いたもの以外に、樹脂やワックスなどいろいろな形がある。	53	77
イ	(事前) 使用方法はタバコのように煙を吸う。 (事後) 使用方法は、主にタバコのように煙を吸う。	73	92
ウ	使うと幻覚作用がある。	80	85
エ	(事前) タバコより害が少ないという話を聞いたことがある。 (事後) タバコより害がない、安全であるなどは誤った情報である。	20	92
オ	(事前) 海外の一部の国や地域では持ったり使ったりすることが許されていると聞いたことがある。 (事後) 海外の一部の国や地域では持ったり使ったりすることが許されている。	67	85
カ	(事前) 一度使うと繰り返し使うようになる。 (事後) 依存性があり、繰り返し使うようになる場合がある。	73	92
キ	長期間使用すると脳に影響を与えて記憶障害などの影響がある。	53	92
ク	その他	0	0
ケ	知っているものはない・わからない	0	0

【事前Q4】小学校、中学校、高校で薬物乱用の授業を受けたことがあるか。

ある場合は、授業を受けたことのある学年（複数回答可）

- ア ある 13人 小学校（低学年 1人、中学年 2人、高学年 11人）
中学校（1年 7人、2年 8人、3年 8人）
高校（1年 2人）
- イ ない 2人

【事前Q5】授業の内容（複数回答可）

- ア 脳や体がむしばまれる。 9人
- イ 急性中毒で死亡する恐れがある。 10人
- ウ 使ったり、所持したりすることは違法である。 8人
- エ 薬物の影響により犯罪をおこす可能性がある。 6人
- オ 依存性があるために薬物を乱用すると止められなくなる。 9人
- カ 薬物乱用の定義について 4人

キ	特に未成年者が薬物を乱用すると、心と体の成長に大きな影響がある。	8 人
ク	フラッシュバック現象について	8 人
ケ	薬物乱用の3要因(薬物、ヒト、環境)	6 人
コ	薬物乱用者は、凶悪な犯罪を起こしやすい。	6 人
サ	薬物乱用防止キャンペーンについて	4 人
シ	その他	1 人
ス	覚えていない・忘れた	0 人

【事前Q6】 授業の形式 (複数回答可)

ア	先生が講義	7 人
イ	外部の講師が講義	11 人
ウ	DVD などの視聴	9 人
エ	ロールプレイング(役割演技法)を実施	2 人
オ	テーマを決めて討論	1 人
カ	テーマを決めて研究発表	0 人
キ	シナリオを作成し、上演	0 人
ク	その他	0 人
ケ	覚えていない・忘れた	0 人

【事前Q7】 授業を受けた感想 (複数回答可)

ア	なぜ薬物乱用はいけないかを理解した。	12 人
イ	誘われたときに断れる自信がついた。	10 人
ウ	授業を受けたときはわかったが、内容を忘れてしまった。	0 人
エ	自分には役に立たないと思った。自分には関係ないと思った。	0 人
オ	その他	0 人

【事前Q8】 授業で学んだことについて、家に帰ってから家族と話題にしたことがあるか。

ア	ある	7 人
イ	ない	6 人

【事前Q9・事後Q6】 「薬物」「危険ドラッグ」についてどのようなイメージを持っているか。(複数回答可)

	事前(%)	事後(%)
ア 犯罪	87	92
イ 事故	40	46
ウ 怖いもの	80	92
エ 危険	93	85
オ 乱用	100	100
カ 依存	93	85
キ 流行	7	15
ク 他の犯罪や事故を引き起こす	47	77
ケ 他人に迷惑をかける	60	85

コ 自分には関係ない	7	23
サ 個人の自由	0	0
シ 遠い存在	20	15
ス 不良	33	77
セ 暴力団	40	77

【事前Q10・事後Q4】自分や友人にとって薬物が身近な問題であると考えるか。

	事前(%)	事後(%)
ア そう思う	67	85
イ そうは思わない	33	15

【事前Q11・事後Q5】友人に薬物のことで相談を受けたり、自分が誘われたりしたら（抜粋）

ア 相談を受けたら

【事前】

- ・絶対に手を出してはいけないこと、危険性を伝えようと、悩みにあった正しい判断のできる大人に相談することを進める
- ・同情せず、絶対にやめておいた方が良く強く伝える
- ・病院に行ってやめるように言う
- ・他人にも迷惑をかけるし、自分も元に戻れなくなるよ

【事後】

- ・薬物やろうと思っていると言われたら、止める
もし手を出してしまったと言われたら、相談できる機関を教える
- ・現状をしっかり把握して大人の助けが必要だと判断した時点で周りに大人の助けを求める
- ・まず話を聞き、薬物相談センターなど専門機関を勧める
- ・とがめずに近くの人に相談したり、話を聞く

イ 誘われたら

【事前】

- ・きっぱりと断る、警察に通報する
- ・自分は絶対にやらないこと、薬物はだめだということをしっかり伝える
- ・全力で逃げて、家族に伝え、親からその友人の親に伝える
- ・話題を変えたり笑い飛ばしたりしてすぐにその場を離れる、場合によってはその友達と縁を切る
- ・自分は健康だと言って断る
- ・いけないことだと注意する

【事後】

- ・逃げる、関わらないようにする
- ・断ってその場から離れる
- ・ただ断るだけでなく、しっかり理由を伝えて断る。他の娯楽などをおすすめして一緒に楽しむ
- ・はっきり断った後、その場から逃げる
- ・自分の意思をもって断る

【事前Q12】薬物のことで知りたい内容（複数回答可）

ア	薬物を乱用するきっかけについて	8人
イ	薬物が心身に与える影響について	6人
ウ	乱用のメカニズム、自分で乱用を止めることが難しい理由について	9人
エ	薬物乱用が社会に与える影響について	10人
オ	違法な薬物の使用で受ける社会的な罰について	8人
カ	回復過程について（治療に必要な期間、後遺症など）	11人
キ	最近の乱用者数の変化、乱用薬物の傾向について	4人
ク	その他（具体的に）	0人

【事前Q13】薬物乱用防止を唱える「ダメ。ゼッタイ。」という合い言葉を知っていますか。

ア	知っている	13人
イ	知らない	1人

【事前Q14】薬物乱用防止高校生会議に参加してみようと思った理由、してみたいことなど（抜粋）

- ・薬物が最近流行っているため
- ・どうやって乱用をやめられたのか知りたい
- ・薬物乱用の歴史について知りたい
- ・薬物乱用の本当の怖さ、実際の声などを学び、届けていきたい

【事後Q7】薬物乱用防止に効果があると思うもの（人数）

	ある	少しある	どちらともいえない	あまりない	ない
ア 高校生会議に参加する	8人	3人	2人	0人	0人
イ 学校の授業で教わる	5人	7人	1人	0人	0人
ウ 元乱用者の話を聞く	11人	2人	0人	0人	0人
エ 薬物乱用防止ポスター・標語等を作成する	2人	6人	3人	2人	0人
オ 薬物乱用防止のリーフレットや読本を読む	4人	3人	5人	1人	0人
カ 薬物乱用防止の啓発イベントを実施・出席する	6人	5人	2人	0人	0人
キ 他の高校生の薬物乱用防止活動を知る	5人	4人	3人	0人	0人
ク 取締りや罰則を厳しくする	9人	3人	1人	0人	0人

【事後 その他、薬物乱用防止につながるアイデアがあれば、教えてください。】

- ・SNS等を利用した呼びかけ
- ・元乱用者による講演
- ・REALの原則を広告やCMで宣言する、実際の教育現場で乱用者のお話を聞く
- ・相談ができるような場所づくりをする（学生の乱用が増えているから）

令和4年度薬物乱用防止高校生会議 事前アンケート

学校名 都立三田高等学校 _____年 _____氏名 _____
(学年・氏名はアンケート結果集計のみに用いますので、公表などをすることはありません。)

薬物乱用に関して、以下の質問にお答えください。

1 薬物乱用とは、不正な薬物を使用すること又は医薬品を医療目的以外の目的で使用するをいいます。最近、乱用が問題になっている薬物について、知っているものに、○を付けてください。

また、()内の用語のうち、知っているものにも○を付けてください。
(複数回答可)

- ア 覚醒剤 (エス、スピード、アイス、氷、冷たいの、クリスタル、シャブ、ヒロポン)
- イ 大麻 (マリファナ、ハッパ、チョコ、ハシッシュ、グラス、草、野菜、ガンジャ)
- ウ あへん (けし)
- エ モルヒネ
- オ ヘロイン (チャイナホワイト)
- カ コカイン (コーク、スノウ、ホワイト、チャーリー)
- キ MDMA (エクスタシー、XTC、バツ、^{ぼつ}×、罰)
- ク LSD (エル、アシッド、ペーパー)
- ケ マジックマッシュルーム
- コ シンナー (アンパン)
- サ トルエン
- シ 危険ドラッグ (脱法ドラッグ、合法ドラッグ、脱法ハーブ、合法ハーブ、指定薬物、シバガス、デザイナーズドラッグ)
- ス 向精神薬 (ハルシオン、リタリン、眠剤)
- セ ステロイド (筋肉増強剤)
- ソ その他 ()
- タ 知っているものはない・わからない

(裏面に続く)

2 覚醒剤についてどのようなことを知っていますか。テレビや新聞、雑誌などで知った知識で構いません。この中で知っていることがあれば該当する記号に○を付けてください。（複数回答可）

- ア 無色の結晶又は白色の粉末である。
- イ 注射するほかにもいろいろな使用方法がある。
- ウ 使用すると、一時的に気分がスッキリし、疲労がとれたような感じになる。
- エ 効果が切れると倦怠感や疲労感におそわれる。
- オ 一度使うと繰り返し使うようになる。
- カ 長期間使用すると、幻覚や妄想がひどくなり、錯乱状態になる場合がよくある。
- キ 長期間使用をやめていても、ストレス等で幻覚や妄想におそわれることがある。
- ク その他（)
- ケ 知っているものはない・わからない

3 大麻についてどのようなことを知っていますか。テレビや新聞、雑誌などで知った知識で構いません。この中で知っていることがあれば該当する記号に○を付けてください。（複数回答可）

- ア 形は草以外にも、樹脂やワックスなどいろいろな形がある。
- イ 使用方法はタバコのように煙を吸う。
- ウ 使うと幻覚作用がある。
- エ タバコより害がないという話を聞いたことがある。
- オ 海外の一部の国や地域では持ったり使ったりすることが許されていると聞いたことがある。
- カ 一度使うと繰り返し使うようになる。
- キ 長期間使用すると脳に影響を与えて記憶障害などの影響がある。
- ク その他（)
- ケ 知っているものはない・わからない

4 小学校、中学校、高校で薬物乱用防止の授業を受けたことがありますか。授業を受けたことのある学年に○を付けてください。（複数回答可）

- ア ある
小学校（低学年、中学年、高学年） 中学校（1年・2年・3年）
高校（1年・2年・3年）
- イ ない

「イ ない」と答えた方は9にお進みください。

4で「ア ある」と答えた方に質問します。

5 上記4で受けた、授業の内容について、あてはまる記号に○を付けてください。
(複数回答可)

- ア 脳や体がむしばまれる。
- イ 急性中毒で死亡する恐れがある。
- ウ 使ったり、所持したりすることは違法である。
- エ 薬物の影響により殺人などの犯罪を起こす可能性がある。
- オ 依存性があるために薬物を乱用すると止められなくなる。
- カ 薬物乱用の定義について
- キ 特に未成年者で薬物を乱用すると、心と体の成長に大きな影響がある。
- ク フラッシュバック現象について
- ケ 薬物乱用の3要因(薬物、ヒト、環境)
- コ 薬物乱用者は、凶悪な犯罪を起こしやすい。
- サ 薬物乱用防止キャンペーンについて
- シ その他 ()
- ス 覚えていない・忘れた

4で「ア ある」と答えた方に質問します。

6 授業の形式であてはまる記号に○を付けてください。 (複数回答可)

- ア 薬物乱用に関して先生が講義
- イ 薬物乱用に関して外部の講師が講義
- ウ ビデオで薬物乱用について学習
- エ ロールプレイング(役割演技法)を実施
- オ テーマを決めて討論(その時のテーマ:)
- カ テーマを決めて研究発表(その時のテーマ:)
- キ シナリオを作成し、上演(劇の名称:)
- ク その他 ()
- ケ 覚えていない・忘れた

4で「ア ある」と答えた方に質問します。

7 授業を受けた感想について、あてはまる記号に○を付けてください。 (複数回答可)

- ア なぜ薬物乱用はいけないかを理解した。
- イ 誘われたときに断れる自信がついた。
- ウ 授業を受けたときはわかったが、内容を忘れてしまった。
- エ 自分には役に立たないと思った。自分には関係ないと思った。
(その理由:)
- オ その他 ()

(裏面に続く)

8 授業で学んだことについて、家に帰ってから家族と話題にしたことがありますか。

- ア ある
- イ ない

9から14は全員に質問します。

9 「薬物」「危険ドラッグ」についてあなたはどのようなイメージを持っていますか。あてはまるものに○を付けてください。（複数回答可）

- | | | |
|-------------|-----------------|---------|
| ア 犯罪 | イ 事故 | ウ 怖いもの |
| エ 危険 | オ 乱用 | カ 依存 |
| キ 流行 | ク 他の犯罪や事故を引き起こす | |
| ケ 他人に迷惑をかける | コ 自分には関係ない | サ 個人の自由 |
| シ 遠い存在 | ス 不良 | セ 暴力団 |

10 大人たちは、最近の青少年の薬物乱用を深刻な問題として受け止めています。あなたは自分や友人にとって薬物が身近な問題であると考えますか。

- ア そう思う
- イ そうは思わない

11 もし、あなたが友人に薬物のことで相談を受けたり、自分が誘われたりしたらどうするかそれぞれ記入してください。

ア 相談を受けたら

イ 誘われたら

12 薬物のことで知りたい内容について、あてはまる記号に○を付けてください。（複数回答可）

- ア 薬物を乱用するきっかけについて
- イ 薬物が心身に与える影響について
- ウ 乱用のメカニズム、自分で乱用を止めることが難しい理由について
- エ 薬物乱用が社会に与える影響について
- オ 違法な薬物の使用で受ける社会的な罰について
- カ 回復過程について（治療に必要な期間、後遺症など）
- キ 最近の乱用者数の変化、乱用薬物の傾向について
- ク その他（具体的に： _____)

13 薬物乱用防止を唱える「ダメ。ゼッタイ。」という合い言葉を知っていますか。

ア 知っている

イ 知らない

14 薬物乱用防止高校生会議に参加してみようと思った理由、してみたいこと、学習したいテーマなどがあれば、自由に記入してください。

—ありがとうございました。—

令和4年度薬物乱用防止高校生会議 事後アンケート

年 氏名

(氏名はアンケート結果集計のみに用いますので、公表することはありません。)

薬物乱用に関して、以下の質問にお答えください。

- 1 薬物乱用とは、不正な薬物を使用すること又は処方された医薬品を決められた量や目的以外で使用することをいいます。最近、乱用が問題になっている薬物について、知っているものに、○を付けてください。また、()内の隠語や用語のうち、知っているものにも○を付けてください。

(複数回答可)

- ア 覚醒剤 (エス、スピード、アイス、氷、冷たいの、クリスタル、シャブ、ヒロポン)
- イ 大麻 (マリファナ、ハッパ、チョコ、ハシッシュ、グラス、草、野菜、ガンジャ)
- ウ あへん (けし)
- エ モルヒネ
- オ ヘロイン (チャイナホワイト、ジャンク、ペー)
- カ コカイン (コーク、スノウ、クラック、ホワイト、チャーリー)
- キ MDMA (エクスタシー、XTC、バツ、^{ぼつ}×、罰)
- ク LSD (エル、アシッド、ペーパー)
- ケ マジックマッシュルーム
- コ シンナー (アンパン)
- サ トルエン
- シ 危険ドラッグ (脱法ドラッグ、合法ドラッグ、脱法ハーブ、合法ハーブ、指定薬物、シバガス、デザイナーズドラッグ)
- ス 向精神薬 (ハルシオン、リタリン、睡眠薬)
- セ 医薬品 (風邪薬、せき止め)
- ソ ステロイド (筋肉増強剤)
- タ その他 ()
- チ 知っているものはない・わからない

2 覚醒剤についてどのようなことを知っていますか。テレビや新聞、雑誌などで知った知識で構いません。この中で知っていることがあれば該当する記号に○を付けてください。（複数回答可）

- ア 無色の結晶又は白色の粉末である。
- イ 注射するほか、いろいろな使用方法がある。
- ウ 使用すると、一時的にだが気分がスッキリし、疲労がとれたように錯覚する。
- エ 効果が切れると倦怠感や疲労感におそわれる。
- オ 依存性があり、繰り返し使うようになる場合がある。
- カ 長期間使用すると、幻覚や妄想がひどくなり、錯乱状態になる場合がある。
- キ 長期間使用をやめたとしても、ストレス等で幻覚や妄想におそわれることがある。
- ク その他（)
- ケ 知っているものはない・わからない

3 大麻についてどのようなことを知っていますか。テレビや新聞、雑誌などで知った知識で構いません。この中で知っていることがあれば該当する記号に○を付けてください。（複数回答可）

- ア 形は葉などを細かく砕いたもの以外に、樹脂やワックスなど色々な形がある。
- イ 使用方法は、主にタバコのように煙を吸う。
- ウ 使うと幻覚作用がある。
- エ タバコより害がない、安全であるなどは誤った情報である。
- オ 海外の一部の国や地域では持ったり使ったりすることが許されている。
- カ 依存性があり、繰り返し使うようになる場合がある。
- キ 長期間使用すると脳に影響を与えて記憶障害などの影響がある。
- ク その他（)
- ケ 知っているものはない・わからない

4 大人たちは、最近の青少年の薬物乱用を深刻な問題として受け止めています。あなたは自分や友人にとって薬物が身近な問題であると考えますか。

- ア そう思う
- イ そうは思わない

5 もし、あなたが友人に薬物のことで相談を受けたり、自分が誘われたりしたらどうしますか。それぞれ自由に記入してください。

ア 相談を受けたら

イ 誘われたら

6 「違法薬物」「危険ドラッグ」についてあなたはどのようなイメージを持っていますか。あてはまるものに○を付けてください。（複数回答可）

- | | | |
|-------------|-----------------|---------|
| ア 犯罪 | イ 事故 | ウ 怖いもの |
| エ 危険 | オ 乱用 | カ 依存 |
| キ 流行 | ク 他の犯罪や事故を引き起こす | サ 個人の自由 |
| ケ 他人に迷惑をかける | コ 自分には関係ない | セ 暴力団 |
| シ 遠い存在 | ス 不良 | |

7 次の事柄は自分にとって薬物乱用防止に効果があると思いますか。（回答例 ⊕）
その他、どんな事柄や効果があると思いますか。

	ある	少しある	どちらとも いえない	あまりない	ない
高校生会議に参加する					
学校の授業で教わる					
元乱用者の話を聞く					
薬物乱用防止ポスター・ 標語等を作成する					
薬物乱用防止のリーフレット や読本を読む					
薬物乱用防止の啓発 イベントを実施・出席する					
他の高校生の薬物乱用 防止活動を知る					
取締りや罰則を厳しく する					

その他、薬物乱用防止につながるアイデアがあれば、教えてください。

—ありがとうございました。—

令和4年度薬物乱用防止高校生会議報告書

令和5年3月発行

登録番号(4)292

編集・発行 東京都福祉保健局健康安全部薬務課
〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
電話 03-5320-4505(ダイヤルイン)

印刷 株式会社オゾニックス
〒140-0004 東京都品川区南品川五丁目3番13号
電話 03-6810-5431